YouTube

2018年3月17日号

週刊NY生活TV

❶ ほくほく会が追悼式典
❷ 米名門大学受験のコツ

■ インターネットに接続し、デジタル版のアドレスwww.nyseikatsu.comで開いた最初の扉ページのテレビ画面をクリックするか、紙面１面の左下にある動画のロゴをクリックすると動画をYouTubeでご覧になれます。

www.nyseikatsu.comで
動画がご覧になれます

●過去の動画は　www.youtube.com/user/NYSEIKATSUTV1

EVENT GUIDE

EVENT

■第256回セント・パトリックデー・パレード＝17日　11:00 5th Ave（44th St～79th St）独立宣言よりも古く1762年から続くニューヨークの伝統行事。春を告げる緑色、アイリッシュカラーで一色となるパレード。バグパイプに合わせて行進する伝統的スタイルを守っている。
詳細はhttp://nycstpatricksparade.org

■メイシーズ・フラワーショー2018＝25日～4月8日まで　Macy´s Herald Square（Broadway & 34th St）Tel: 212-494-4495 入場無料　店内に飾られる花のショー。今年のテーマは「ワンス・アポン・スプリングタイム」。造園からテーブルフラワーデザインまで、世界各国の産地から届いた花々を集め、フローラル関係者や花にモチーフを得たデザイナーなどをゲストに招き作品を展示。期間中、さまざまなイベントも予定。詳細はhttp://social.macys.com

■第16回オーキッド・ショー2018＝4月22日まで New York botanical Garden (Bronx River Parkway at Fordham Road) Tel: 718-817-8700　入場料：$20（大人）、$18（学生・シニア）、$8（子供）、2歳未満無料　全米で最大規模を誇る蘭の展示会。今回はベルギーのフローラル・アーティスト、ダニエル・オストによるインスタレーション作品も展示。詳細はwww.nybg.org

MUSIC

■2017年～2018年カーネギー・ホール・コンサート＝20日まで　時間、料金はアーティストによって異なる Carnegie Hall（881 7th Ave）Tel: 212-247-7800　クラシック音楽、オペラからポピュラーな軽音楽やジャズまでを紹介。出演：17日アンダルシアン・ボイス／18日ニューヨーク・ユース・シンフォニー／19日ニューイングランド・シンフォニック・アンサンブル／20日ニューヨーク・インビテーショナル・ミュージック・フェスティバル
詳細はwww.carnegiehall.org

■Rico Yuzen Quartet CDリリースパーティー＝21日21:30　The Triad（158 W.72nd St）入場料：$24　ジャズボーカリストのリコ・ユーゼンとそのカルテットが新作「I Wish You Love」のCD発売を記念。　詳細はwww.triadnyc.com

■木川貴幸「ドビュッシー没後百年記念ピアノリサイタル」＝25日19:00 Spectrum（70 Flushing Ave, Garage A）入場料：$25（当日現金）ニューヨーク在住の木川貴幸のソロリサイタル。フランスの大作曲家、ドビュッシーの初期の傑作「版画」、最後となった「ピアノのための12の練習曲」を全曲演奏。
詳細はwww.takakigawa.com

■アメリカン・ソングブック・シリーズ2018＝27日まで　時間と入場料、及び会場はアーティストによって異なる Frederic P. Rose Hall（Broadway & 60th St）Tel: 212-721-6500　ブルーグラス、コンテンポラリーカントリー、ロック、クラシックジャズ、ブロードウエー、キャバレーなど20世紀から今日まで米国で誕生した多ジャンルの音楽を紹介。詳細はwww.lincolncenter.org

■ブルー・ノート＝4月1日まで　開演時間20:00、22:30 料金はアーティストによって異なる　出演：～18日ロイ・ハインズ・バースデー・セレブレーション／19日～21日エリック・クラズノほか／23日マシュー・ウィッテカー・トリオ／24日～4月1日ボビー・マックファリン
詳細はwww.bluenote.net/

DANCE&THEATER

■フラメンコ・フェスティバル＝24日まで　公演時間や内容、料金は曜日によって異なるNew York City Center（130 W 56th St、Joes Pub（425 Lafayette St）ほか市内各会場　フラメンコの舞台やその音楽文化の祭典。異色のダンスコラボレーションなど、今年は刷新。詳細はwww.nycitycenter.org

■ポール・テイラー・ダンスカンパニー公演＝25日まで　時間と内容は曜日によって異なる　David Kock Theatre（20 Lincoln Center Plaza）Tel: 212-870-5570　料金：$10～$175　代表作「ピアソラ・カルデラ」「ローゼス」「エスプラネード」「クローブン・キングダム」などレパートリー作品を披露する。
詳細はhttp://ptdc.org/

■チャリティー公演「レッツ・トーク・アバウト・ラブ」＝30日（金）20:00、31日19:00、Triskelion Arts（106 Xalyer St., Brooklyn）。入場料：$16（前売）、$20（当日）。ダンサーの高橋綾子が企画。収益全額を国境なき医師団に寄付。詳細はhttp://letstalkaboutlovevil1.brown-papertickets.com

ART

■第９回アジア・ウィーク2018＝～24日まで　時間は会場によって異なる（市内加盟各会場）入場無料　期間中ギャラリーや美術館での展示以外に、各会場で講演会やレクチャー、ワークショップ、オークションやツアーなどが開催される。美術関係者だけでなく、一般のアートファンも十分楽しめる。
詳細はwww.asiaweekny.com/

■田中太山個展「四十歳ニ成リマス」＝25日まで　RESOBOX East Village（91 E 3rd St）Tel:212-598-5993　入場無料　ニューヨーク在住の書画家、田中太山による自身の40歳を記念した作品展。3月25日の同展最終日は午後7時から9時までクロージングパーティとバースデーイベントが行われる。
詳細はhttp://resobox.com

■ドラマ／ダウントンアビー・セット展＝4月2日まで　10:00～19:00　会場（218 W 57th St）Tel: 866-811-4111　料金：$30（大人）、$28（シニア）、$15（4～12歳）20世紀初頭の英国貴族家族とその使用人を描き、息の長い人気を保ったドラマの優雅な居室セット、衣裳、テーブルウェアなどをドラマそのままに展示中。古き良き英国の文化を垣間見ることができる。
詳細はwww.downtonexhibition.com

■福井延光個展「パラダイス」＝～4月7日まで　Margaret Thatcher Projects（539 West 23rd st）Tel:212-675-0222　入場無料　ニューヨークで55年にわたり制作活動を続ける画家・福井延光がこの２年間で手がけた大型作品を展示。抽象画の要素にコラージュやミクストメディアなどを取り入れたポップアート作品は米国のコミックや日本の漫画、スーパーヒーローなどが散りばめられている。
詳細はwww.thatcherprojects.com

■バタフライ・コンサーバンシー＝5月28日まで　American Museum of Natural History（Central Park West at 79th St）Tel: 212-769-5100 入場料（推奨寄付）：$23（大人）、$18（学生・シニア）、$13（2～12歳の子供）熱帯森林環境を模して作られた会場で500種以上の生きた蝶が飛び回る。
詳細はwww.amnh.org/exhibitions

■タルシラ・ド・アマラル／モダン・アート・イン・ブラジル展＝6月3日まで MoMA（11 W 53rd St）Tel: 212-708-9400 入場料：$25（大人）、$18（シニア）、$14（学生）20世紀のブラジルを代表するアマラル（1886～1973）の作品を紹介。祖国独自の作品を創造した鮮やかな色彩とフォルム絵画のほか素描やスケッチなど約130点を展示。
詳細はwww.moma.org

「週刊NY生活」
No. 670
2018年3月17日発行
ニューヨーク生活プレス社
NEW YORK SEIKATSU PRESS, INC.
71 W. 47th St., Suite 307
New York, N.Y. 10036
Tel: 212-213-6069
Fax: 212-213-6451
www.nyseikatsu.com
◇
Publisher　Ryoichi Miura
President　Shigeru Hisamatsu
Vice President　Jun Nishimura
Staff Writer　Kaoru Komi
Designer　Nao Suzuki

日本からの広告も承ります

本紙掲載の記事、写真の無断転載を禁じます。本紙に掲載された広告内容に関してはＮＹ生活プレス社は一切責任を負いかねます。

All copyrights reserved to NewYork Seikatsu Press,Inc. New York Seikatsu Press, Inc. is not responsible for any advertisements published in this paper.

ケンジとケイスケと

松井みさき監督作品
4月6日上映とライブ

写真映像作家の松井みさきが制作したドキュメンタリー短編映画「ケンジとケイスケと（mit Kenji und Keisuke）」の上映＆音楽ライブのイベントが4月6日（金）午後8時、マンハッタンのザ・セル（西23丁目338番地）で開催される。映画の被写体となったハーバート賢治と松野圭介のライブ演奏、松井みさきを交えたトークショーが行われる。

同作品は、松井がブルックリンで2人のギタリストと出逢い、彼らとの時間を自ら撮影・インタビューする過程で、国際的な生い立ちを持ち自然体で生きる彼らから人生のヒントを学んでいくという内容。ショートショートフィルムフェスティバル&アジア2017ジャパン部門入選作品。

入場料は15ドル、要予約。予約はEメールmisaki@misakimatsui.comから。会場のウェブwww.thecelltheatre.orgから。松井のウェブサイトwww.misakimatsui.com

Japanese Tapas Lounge
bozu
296 Grand Street, Brooklyn, NY 11211
Tel: 718-384-7770

聴けます
◎本紙デジタル版 www.nyseikatsu.com でレコードジャケットをクリック！

45回転の名盤 345
ケメ子の歌　ザ・ダーツ

作詞・作曲：馬場祥弘、採譜・補作：浜口庫之助による楽曲。編曲は、浜口庫之助（ザ・ダーツ盤）／寺岡真三（ザ・ジャイアンツ盤）。ザ・ダーツ（「ケメ子の歌」、1968年2月1日発売、CBSコロムビア）と、ザ・ジャイアンツ（「ケメ子の唄」、1968年1月25日発売、日本ビクター）がある。ほのぼのとしたラブソング。

YouTubeで聴く

デジタル版 www.nyseikatsu.com でロゴをクリックするとブログにリンク

212：暖冬のスコットランド取材

英国製ダッフル・コートを着込み、意気揚々北スコットランド・インバネス空港に降り立った。

猛吹雪を覚悟していたというのに気が抜けた。その年のスコットランドは暖冬。土地の人たちもこんな冬は珍しいと口々に言っていた。「日本の方がよほど寒い」と言っても「日本より寒いと言いたいのだろう」などと相手にしてくれない。

おかげでスコットランド取材は同時期の東京より暖かい中で順調に進んだ。あこがれのネス湖へも行けたし、言うことなし。

スコットランド首都エディンバラも好天。勝手なものでこんな重い（約2キロ）ダッフルなど買わなきゃよかったと、罰当たりなことを口にしながら無事帰国。英国旅行中ダッフルを見たのは2回、それも若者ではなく年寄りだった。日本では1970年代後半、大学受験生用男女共通のお受験服。ネイビーのダッフル・コートはスクール・ユニフォームと化した。

（おわり）

（くろす・としゆき／服飾評論家、東京都在住）

おかげさまで
30周年
950 Lexington (Bet 69&70)
212・772・3243
SaraJapanesePottery@gmail.com

週刊NY生活
出版事業部
あなたの本を作ります。
(212)213-6069

平日（月）～（金）日本時間 夕方 17：00 ～生配信　番組ホームページ　https://op-ed.jp/